

# 令和6年度 保育所の自己評価

社会福祉法人水の会

南幌いちい 保育園

園長 松木 千秋

評価項目と視点		保育士の評価
1	第1章総則 教育・保育の基本 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの最善の利益の考慮</li> <li>・ 保育の環境（人・物・場）の構成</li> <li>・ 子どもの理解、関わり</li> </ul>	95%
2	第2章 保育の内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育のねらい及び内容</li> <li>・ 育ちの見通しに基づく保育</li> </ul>	95%
3	第3章 健康及び安全 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康及び安全の管理</li> <li>・ 健康の保持及び増進に係る取り組み</li> <li>・ 疾病・事故などの発生予防や体制構築</li> </ul>	92%
4	第4章 子育て支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入所する子どもの家庭との連携と子育て支援</li> <li>・ 地域の保護者等に対する子育て支援</li> <li>・ 地域における連携・交流</li> </ul>	95%
5	第5章 職員の資質向上（求める保育士像）	81%

総評 ※パーセンテージは、「できている」「概ねできている」の評価です。

本園では、保育士の専門性の向上や保育実践の改善を目的として、毎年職員一人ひとりが1月に自己評価を行っております。令和6年度の自己評価について、職員の評価を集計して園全体の評価をいたしましたので、お知らせいたします。

今年度は、「教育・保育の基本」の項目で、昨年に比べ、評価が上がっています。これは、こどもの人権や不適切な保育についての園内研修やグループワーク等により、各々の認識が深まった結果と考えています。「職員の資質向上」の評価については、保育方針を自信をもって説明するという点や、自己研鑽が足りないと考えている職員の評価が低くなっています。法人の理念や保育方針の理解を深めるための研修や、オンライン研修等ですべての職員が学ぶ機会を多く持って、今後も個人のスキルアップと園全体の保育の質の向上に努めてまいります。